

令和2年度 第24回田原本町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

開催日時 令和3年3月25日 14時～14時50分

場 所 田原本町役場3階 301・302会議室

出席者 西谷委員（代理出席）、葛城委員、井上委員、杉本委員（代理出席）、土井委員、上田委員（代理出席）、山岡委員、中西委員、吉田委員、東委員（代理出席）、西川委員（代理出席）、南委員（代理出席）、住井委員、高江委員、榊井委員、山内委員

1. 開会

（事務局）

第24回田原本町地域公共交通活性化協議会は、出席委員16名で委員総数の過半数の出席により会議は成立。

2. 挨拶

（住井会長）会長挨拶

3. 議事

○田原本町地域公共交通活性化協議会設置規約の変更について（資料3）

（事務局）

- ・第1条、法改正に伴い作成する計画を地域公共交通計画に変更
- ・第9条、協議会の開催を書面で実施できる旨の明文化
- ・別表、委員の担当役職の変更

（各委員）

《 異議なし 》 原案とおり承認

○田原本町地域公共交通計画について（参考資料1，2 資料4，5）

（事務局）

地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が改正され、地方公共団体による公共交通計画の作成が求められており、本町においても作成に向け取り掛かっている。

田原本町の公共交通は鉄道 2 路線 4 駅、タクシーであり、かつては路線バスやデマンド型乗合タクシー等もあったが、現在の交通施策はタクシー利用時に一部料金を助成するタワラモントタクシー利用料金助成制度である。

・タワラモントタクシーの利用実績や利用者アンケート

満足している回答が多く制度の継続を求めており、改善点として、利用時間、曜日の拡大など挙げられた。

・公共交通計画策定に係る基礎調査

コンサル業者へ委託し、町内の交通施策データの分析や住民アンケートを実施し、現在分析中。単純集計結果では、町内での移動は自家用車によるものが多く、自らの運転により移動されている。一方で自家用車等による移動ができない人も一定程度おられ、移動手段の充実を求められている。

・田原本町における課題

①公共交通空白地域（鉄道駅から徒歩圏外の地域）

②観光や事業所等への来訪者に対する交通

③タワラモントタクシー利用料金助成制度の課題と財政負担

課題解決策としては、コンサルよりアイデアとして、小型バス等による定時定路線の運行、狭い道等の運行可能な小型 EV 車による交通の補完、環境・高齢者にも優しいグリーンスローモビリティなどがある。

今後の高齢化が進む中、交通ニーズや現状の課題からどのような施策が効果的なのか委員の皆様と考えていきたい。

（東委員）

5 年間の交通計画策定とあるが、計画の中でタワラモントタクシーの拡充や、小型のグリーンモビリティ等を利用したものを実証的にやっていくということか。

（事務局）

タワラモトタクシーの事業費は、2000万程度である。今後、公共交通を導入となると小型のコミュニティバスも考えられる。タワラモトタクシー経費を抑えつつ維持し、検証を試みながら住民ニーズや費用対効果など含めてこの計画を考えている。

(東委員)

交通空白地は駅の徒歩圏内から800メートル外が、交通空白地と定義されているということでしょうか。

(事務局)

都市計画マスタープランにおいて、駅から800メートルを徒歩圏内としており、徒歩圏外を交通空白地として考えている。

(井上委員)

公共交通アンケートの結果で、「必要とする交通政策は今後特に必要ない」という意見が一番多いが、今後計画を進めていくうえでどのように対応していくのか。

(事務局)

特に必要ないという方が40%近くあった。田原本町の世帯における自家用車保有率が90%近くあるためと考える。アンケート調査結果(30ページ)の「田原本町の公共交通サービスの今後について」で、利用者負担を増やしてでも利便性のより高い公共交通サービスを利用したい回答と、利用者負担を少なくし、利便性の高い公共交通サービスにはこだわらない回答、どちらも意見が均衡しており、高齢化や核家族化、免許返納等を踏まえてどうしていくかアンケート結果のさらなるクロス分析等を踏まえて検証したいと考えている。

(高江委員)

今回の資料は単純集計であり、公共交通サービスの結果(20ページや30ページ)を年齢別では、20~50代の層は「利用者負担を少なくし、利便性の高い公共交通サービスにはこだわらない」といった特に交通施策は必要ないという回答が多いのではないかと考える。一方で高齢者の方は「利用者負担を増やしてでも、利便性のより高い公共交通サービスを利用したい」という意見が多く、バスやタクシーといった公共交通施策を増やしてほしいという意見が多いのではないかと考えている。分析結果次第となるが、層のターゲットを絞って何らかの施策を打っていくことが考えられるのではないかと。

(中西委員)

駅前から国保中央病院行き及び総合リハビリテーションセンター行きバスが運行され、これらが無料であるが総合リハビリテーションセンター行きバスを利用されている方が少

ないと思う。それに関して、町の公共交通施策との連携はどう考えるか。

(事務局)

連携としては、公共交通計画では、輸送資源の総動員という観点から盛り込んでいくことになると思うが、国保中央病院と総合リハビリテーションセンターとの連携の検討はしたいと考える。

(住井会長)

本日いただいた意見を踏まえ、今後の交通施策の方向性を検討させていただければと思う。

○令和3年度予算(案)及び令和3年度事業計画(案)について(資料6, 7)

(事務局)

地域公共交通計画の策定に向けたスケジュールについて。今後分析等を進めていき、町にとって最適な交通手段を検討していく中で、節目節目で協議会を開催、諮っていきたい。令和3年度は5回の開催を予定している。

予算としては、歳入は今年度の繰越分を計上、歳出は協議会開催に係る経費を計上している。

(各委員)

《 異議なし 》 原案どおりに承認

4. 事務連絡

(事務局)

- ・来年度任期満了に伴う委員の委嘱をさせていただくので、委員の確認をお願いします。
- ・来年度以降の事前の協議会資料の送付につき、電子メールで対応可能な方は協力をお願いします。

5. 閉会